ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」
国指定重要無形民俗文化財

古川祭「屋台曳き揃え」

平成31年4月19日(金)、20日(土)屋台主事　金亀台組

古川の屋台（やたい）は、神輿行列の露払いの役割を持つ。明治時代までは実際に神輿行列の先導をしていたが、大変な労力が必要なことから、現在は各屋台の名前を記した旗（台名旗）がそれに代わる。

古川の屋台は東西文化融合の結晶といわれており、江戸からもたらされた屋台が、飛騨の匠の技量によって高められ、京都のからくり人形が加わることで独自の形となった。ここに塗師の技術や京都の金具、織物が用いられて、屋台芸術が花開くことになる。

19日、10台の屋台はそれぞれの地域で曳行（えいこう）される。明けて20日は、取決めた場所で屋台が曳き揃えられる。磨き上げられた漆や彫金、木彫装飾など、技術の粋を極めた美しさは静かで情緒ある古川の町並みによく似合う。辻々では青龍台、麒麟台のからくりの奉納があり、絢爛豪華な時代絵巻を展開する。

夜に行われる「夜祭（よまつり）」では、屋台が提灯を灯しながら曳行する。小さく揺れる提灯に照らし出された屋台は、日中とは違った表情を見せる。

古川祭19日、20日「屋台曳き揃え」のご案内

屋台曳き揃え・曳行進行予定

19日 日中各屋台がそれぞれの町内を曳行

20日
- 8:00　まつり広場①に曳き揃え
- 10:00頃　末広町②に向け曳行
- 10:30頃　末広町②に曳き揃え
- 11:00頃　大横丁通り③に向け曳行
- 11:45頃　大横丁通り③に曳き揃え
- 15:00頃　夜祭準備の為解散（各屋台蔵へ）

夜祭
- 18:00　弐之町通り④に曳き揃え
- 18:30　提灯を点灯し⑤へ向け曳行
- 19:30　今宮橋付近⑤に曳き揃え
- 20:00　各屋台蔵へ曳き別れ

※①～⑤は案内図の屋台曳き揃えの位置を示しています。
※屋台曳き揃え・曳行は、天候等の都合で予定が変更されることがありますのでご了承ください。（雨天中止）

獅子舞・からくり奉納予定

（からくり：青龍台・麒麟台）

19日 それぞれの町内にて、数回奉納されます。（8:00～16:00の間）

※ 19日の雨天時には、不定時に各屋台蔵（青龍台、麒麟台）にて奉納されます。

20日 **晴天時**　9:00 1回目 まつり広場 ①
13:00 2回目 大横丁通り ②

雨天時 各屋台蔵にて奉納されます。

※ 当日、奉納時間が変更になることもありますので、ご了承ください。
※ 両日の奉納時間等の詳細情報を各観光案内所にて、ご案内しますのでお気軽にお問い合わせください。

4/20（土）

屋台曳き揃え・曳行順路、車両通行規制案内図

4月20日（本楽祭）獅子舞・からくり奉納予定時刻

第1回　まつり広場

1. 神楽台組（獅子舞）	9:00 ～	9:30頃
2. 青龍台組（からくり）	9:30 ～	9:50頃
3. 麒麟台組（からくり）	9:50 ～	10:10頃

第2回　大横丁通り

1. 神楽台組（獅子舞）	13:00 ～	13:30頃
2. 麒麟台組（からくり）	13:30 ～	13:50頃
3. 青龍台組（からくり）	13:50 ～	14:10頃

JR高山本線時刻表

運行日：平成31年4月19日(金)　料金(飛騨古川～高山)：240円
※特急列車をご利用の場合は別途特急料金が発生します

下り	（特急ひだ13号）	（普通）	（普通）	（特急ひだ15号 回送）	（普通）	（普通）	（普通）
高　山（発）	17:19	17:51	18:51	19:31	19:51	20:55	22:52
上　枝（発）	↓	17:56	18:56	↓	19:56	21:00	22:58
飛騨国府（発）	↓	18:03	19:03	↓	20:03	21:07	23:05
飛騨古川（着）	17:32	18:07	19:07	19:45	20:07	21:11	23:08
角　川（着）	↓	18:27	－	－	20:21	21:26	23:22
坂　上（着）	↓	18:33	－	－	20:27	21:32	23:28
猪　谷（着）	18:15	18:59	－	－	21:04	21:58	－

上り	普通	普通（臨時）	普通（臨時）	普通	普通（臨時）	普通（臨時）	普通（臨時）
飛騨古川（発）	19:14	20:25	21:03	21:28	22:20	23:09	23:55
飛騨国府（発）	19:18	20:30	21:12	21:33	22:24	23:15	23:59
上　枝（発）	19:25	20:37	21:19	21:40	22:32	23:22	00:07
高　山（着）	19:30	20:42	21:24	21:45	22:37	23:27	00:12

濃飛バス（路線バス）時刻表

運行日：平成31年4月19日(金)「一部20日(土)」
バス乗車運賃（古川～高山）：370円　※深夜料金（古川～高山）：510円

高山ー古川ー神岡

								※深夜料金
高山	17:40	18:10	18:40	19:10	19:40	20:40	21:40	※22:40	※23:40
古川	18:12	18:45	19:12	19:45	20:10	21:15	22:10	※23:10	※24:10
神岡	－	19:30	－	20:30	－	22:00	－	－	－

神岡ー古川ー高山

神岡	16:55	－	－	18:25	－	－	－	－	－
古川	17:40	18:10	18:40	19:10	20:00	21:00	22:10	※23:10	※24:10
高山	18:15	18:44	19:14	19:45	20:30	21:30	22:40	※23:40	※24:40

■お問い合わせ
（古川祭当日はお問合せ多数のため、電話が繋がりにくくなりますことを、ご了承下さい）

（一社）飛騨市観光協会　TEL0577-74-1192
飛騨市役所観光課　TEL0577-73-7463
飛騨市観光案内所　TEL0577-73-3180

神楽台
獅子舞
上段の人形は天岩戸の天鈿女（あめのうずめ）の舞を模した獅子舞。中段の人形は、天照大神が天岩戸から出てきて、下段の人形は、天鈿女の舞を見て、天照大神が岩戸隠れから出てきたことを知ったという神話を表しています。
白虎台
獅子舞
白虎台は、明治初期の屋台蔵を改装し、新たに制作された屋台です。獅子舞は、白虎の子が、獅子の子を育て、獅子が成長すると、獅子舞を演じ、獅子の子は、獅子の子を育てるという、獅子の一生を表現しています。
鳳凰台
獅子舞
鳳凰台は、「鳳凰の舞」と「獅子の舞」の二つの演目があります。「鳳凰の舞」は、鳳凰が、優雅な舞を演じ、「獅子の舞」は、獅子が、獅子の子を育て、獅子の子が、獅子の子を育てるという、獅子の一生を表現しています。
龍笛台
獅子舞
古川祭の始まりの日で、豊作と安全と安泰を願う祭りとして、獅子は、獅子の子を育て、獅子の子が、獅子の子を育てるという、獅子の一生を表現しています。
三番叟台
からくり人形
明治初期の古川大火により、屋台が全焼失。現在の三番叟台は、明治末期に、飛騨古川の匠の技術を結集した、からくり人形を中心とした屋台として、再建されました。
三光台
からくり人形
江戸時代の創建。修理時の資料により、駒津町の名匠、石田常意氏が、屋台を新調した。現在の三光台は、明治末期の、名匠、石田常意氏の、からくり人形を中心とした、屋台として、再建されました。
青龍台
からくり人形
里帰りに、金森祇園祭の獅子舞を、地域の祭礼に、奉納されます。獅子舞は、獅子の子が、獅子の子を育て、獅子の子が、獅子の子を育てるという、獅子の一生を表現しています。
宮本組
宮本
宮本組は、古来より、宮川橋の東、地域の祭礼に、奉納されます。獅子舞は、獅子の子が、獅子の子を育て、獅子の子が、獅子の子を育てるという、獅子の一生を表現しています。
清曜台
からくり人形
下総と伊勢の国に設名、「日清子」に、清曜台は、「日清子」に、清曜台は、「日清子」に、清曜台は